

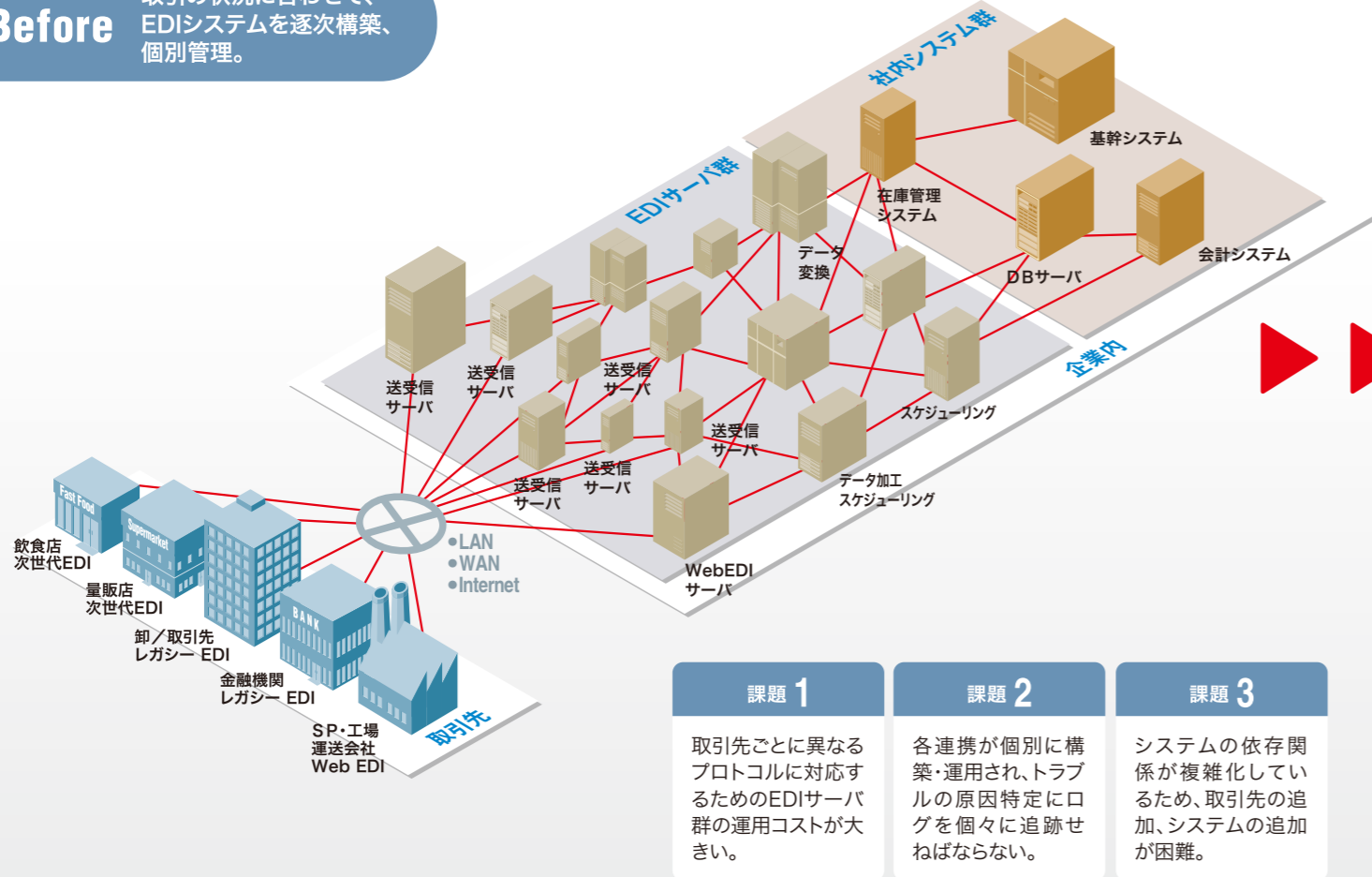
HULFTとHDC-EDI Baseの国内No.1連携で、EDI ↔ 社内システム管理の課題を一掃します。

HDC-EDI Suiteは、これまで取引先ごとに個別に構築が必要だったEDIシステム(企業間電子データ交換システム)と企業内システムの構築や履歴管理を容易にし、データ連携をシームレスに実現。企業活動の根幹を担うシステムの効率的な一元管理が可能になります。



Before

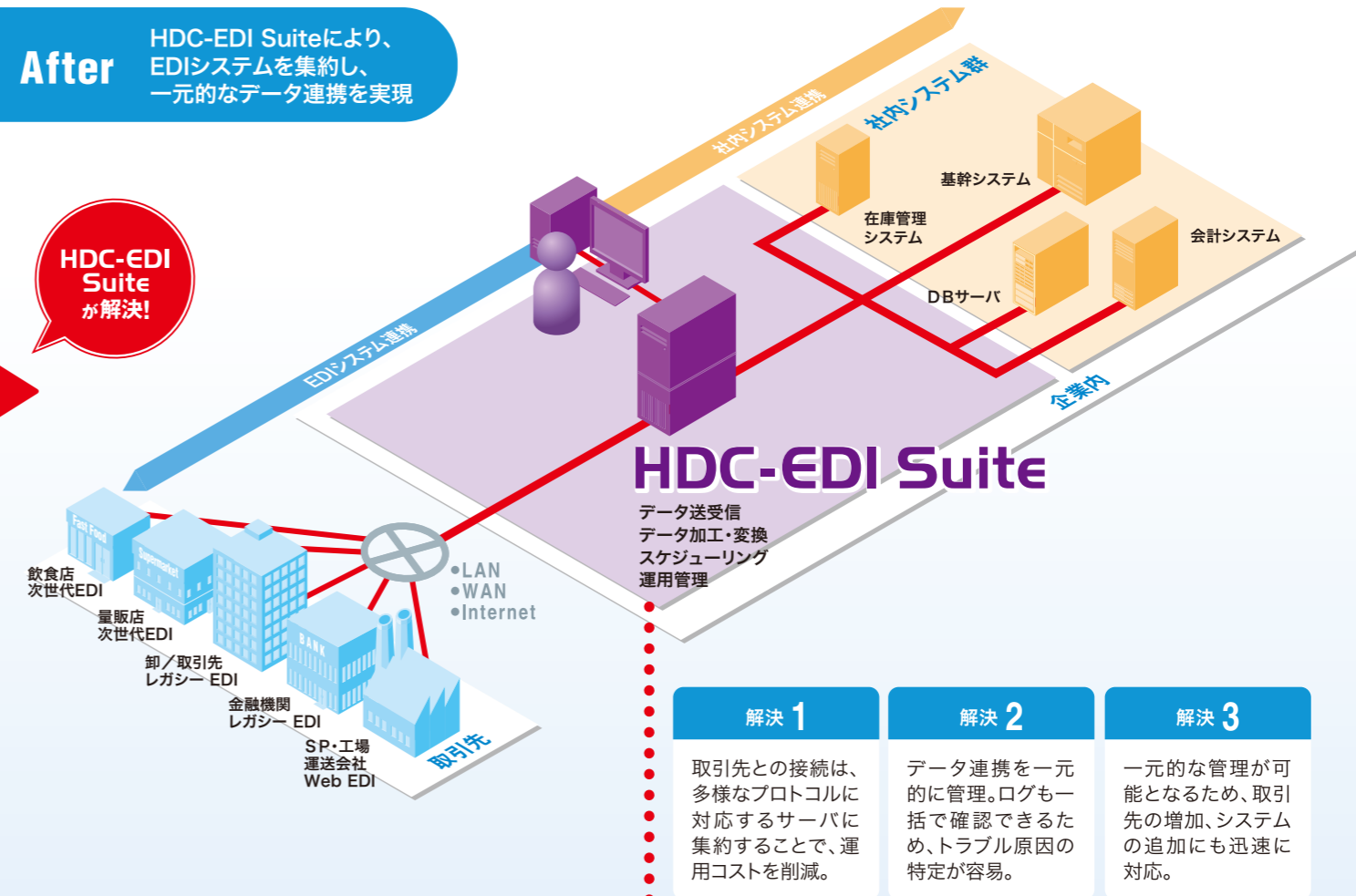
取引の状況に合わせて、EDIシステムを逐次構築、個別管理。



- | 課題 1 | 課題 2 | 課題 3 |
|--|---|--|
| 取引先ごとに異なるプロトコルに対応するためのEDIサーバ群の運用コストが大きい。 | 各連携が個別に構築・運用され、トラブルの原因特定にログを個々に追跡せねばならない。 | システムの依存関係が複雑化しているため、取引先の追加、システムの追加が困難。 |

After

HDC-EDI Suiteにより、EDIシステムを集約し、一元的なデータ連携を実現



- | 解決 1 | 解決 2 | 解決 3 |
|---|--|---------------------------------------|
| 取引先との接続は、多様なプロトコルに対応するサーバに集約することで、運用コストを削減。 | データ連携を一元的に管理。ログも一括で確認できるため、トラブル原因の特定が容易。 | 一元的な管理が可能となるため、取引先の増加、システムの追加にも迅速に対応。 |

将来的なビジネス拡張、システムの進化に柔軟対応。使い続けられる理由は、ここにあります。

メリット 1
企業内外のデータ連携の一元的管理を実現
 取引先とのEDIデータ連携から、社内システムまでの一連のデータ連携を、一元的に管理できます。これにより、従来、個々のシステム単位で行われていたデータ連携の設定、履歴管理、ユーザ権限設定を一元的にわかりやすく、容易に行う事ができるようになります。

メリット 2
ほとんどのプロトコル/プラットフォームに対応
 社外データ連携は、従来型のレガシーEDIから次世代EDI、国内・国際標準フォーマット、Web-EDIまでをカバー。社内データ連携は、汎用機からオープン系まで、業務システムで利用されているほとんどのプラットフォームに対応。既存データ連携の統合も、将来のデータ連携の追加も、容易に実現可能です。

メリット 3
ワンストップサポートサービス
 EDIデータ連携から社内データ連携まで、技術サポート窓口を1つに集約することができます。万一のトラブル時には、これまでのような複数の窓口に関合せる手間と時間が発生しないため、復旧を迅速に行う事ができるだけでなく、システム担当者の負担を軽減することも可能となります。

メリット 4
短期間の構築を実現
 EDIデータ連携、社内データ連携に、定番の業務パッケージソフトを採用。汎用的な機能は基本機能として提供されるため、ゼロからのスクラッチ開発と比べて、構築期間の大幅な短縮が可能となります。また維持・運用コストについても非常に小さくなります。

HDC-EDI Suite システム概要

